



平成28年7月に誕生した、村上の新しい賑わいスポット『みなとオアシス越後岩船』

北前船の寄港地として古くから栄えてきた岩船港、海岸沿いの遊歩道、瀬波温泉街のすぐ裏手に広がる瀬波温泉海水浴場などが、みなとオアシスエリアとなっています。

春の穏やかさ、夏の夕日、秋の海の幸、冬の荒海と、四季により様々表情を見せてくれる日本の海的美しさを感じることができます。



岩船港の歴史



岩船港の初見は、寛政9年(1797年)に村上藩が石川河口に築土し、船の難破と石川を逆流する汐を防ごうとした時のもので、港の整備は船だけではなく、農民にとっても欠くことのできない問題でした。本格的な港湾整備は、大正5年5月から防波堤の建設が始まったが、漂砂のため港内埋没が著しく、工事を一時中止し、漂砂の移動状況調査が行われ、その結果を受け昭和7年から工事が再開されました。

現在の岩船港は商・漁港として機能しており、粟島との間にフェリー型船舶及び高速船が就航し、粟島の生活や観光航路の拠点として大きな役割を果たしています。

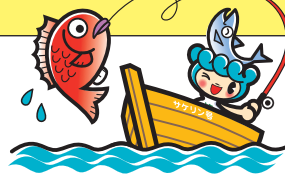
みなとオアシス越後岩船 までのアクセス



■お車でお越しの方



みなとオアシス 越後岩船



●お問い合わせは 新潟県村上市建設課 新潟県村上市三之町1番1号 TEL.0254-53-2111 2018年12月1日 第1刷 発行



みなとオアシス 越後岩船

《岩船港エリア版》



鮭・酒・人情(なさけ)のまち 新潟県 村上市

みなとオアシス越後岩船MAP



オアシスエリア&周辺のみどころ

①新潟漁協岩船港支所直営 岩船港直売所と漁師食堂



岩船港で水揚げされる新鮮な魚介類を味わえます。さかな祭（4月下旬）、ひらめとイカのフェスティバル（6月上旬）、貝祭（8月上旬）などの大好評イベントも開催しています。

②粟島汽船の発着地 粟島汽船営業所



岩船沖に浮かぶ粟島は面積9.78km²の小さな島。美しい海岸線と釣り客で賑わいます。岩船港は粟島とを結ぶフェリーや高速船の発着地です。

⑤新潟県無形民俗文化財指定 岩船大祭



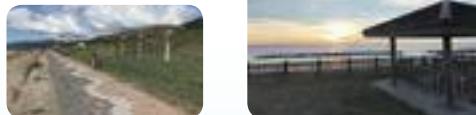
毎年10月18日（宵宮）19日（本祭）の両日にわたって、港のある岩船の町をあげて行われる岩船大祭。「おしゃぎり」と呼ばれる漆、彫刻、金箔が施された豪華絢爛、重厚できらびやかな9台の屋台が町中を巡行します。

③交流と憩いの場 岩船港港湾緑地



港の雰囲気を感じる交流と憩いの場。屋外ステージもあり潮風を感じながら、みなとフェスティバルなど多くのイベントが行われます。

④日本海の美しい景色 岩船海水浴場と遊歩道



海水浴に県内外から多くの方が訪れます。浜辺沿いには遊歩道や海浜広場があり、日本海の美しい景色を眺めながら散歩できます。

オススメの美味しいもの ~うんめえもん~

みなとオアシスエリア内にある「漁師食堂」では、漁協特選の新鮮な魚介類たっぷりのメニューを用意しています。柳カレーの一夜干しなど干物もおすすめです。

漁師がつくる豪快な「ヒラメバーガー」。パンズから飛び出た「ヒラメフライ」は味も見た目もGood。（イベントで限定販売）

岩船港周辺のおいしいもの



岩船麩

ふっくらとした丸型で「丸ふ」ともいわれています。味噌汁や煮物に入れて、出汁をたっぷり吸った趣のある味が楽しめます。



岩船酢

弁天様のお告げで出来上がったと伝えられる岩船酢。300年以上、地元で愛され続ける味です。



鮭の加工品

土地の気候風土を活かす技が作りだす鮭の加工品。絶妙な塩加減の塩引鮭、脂ののった味噌漬など最高です。



クレープ

ふんわり柔らかく、クリームたっぷりの、四角いクレープ。手で持って食べられるケーキです。マロン、チョコ、ブルーベリー、小倉など種類も豊富です。